



報告者

[山形県立米沢工業高等学校](#) 専攻科生産技術コース生産デザイン分野（研究課程） S.Hさん（米沢二中出身）

所在地

山形県米沢市窪田町窪田1188番地



代表者

代表取締役 安房 毅

設立

昭和49年6月12日（1974年）

従業員数

265名（うち技術系60名）（平成23年2月1日現在）

事業

- 液晶デジタルシステム事業
- 物流・生産システム事業
- モノ創りソリューション事業
- 照明事業

専攻科生の長期企業研修

- **目的** 企業での就業体験を通して、実践的な能力や態度を身につける。
- **研修者** 山形県立米沢工業高等学校 専攻科生産技術コース生産デザイン分野（研究課程）
S.Hさん（米沢二中出身）
- **研修内容** 照明機器のCGイメージデザインの応用
- **研修期間** 1) 5月12日（水）～ 5月25日（火）の6日間
2) 8月2日（月）～ 8月31日（火）の17日間

- **研修後企業様より**

技術部門でのインターンシップとして、米沢工業高校の学生さんを開発業務を経験して頂きました。

実際に、商品の外観デザインや展示会で使用するパネル等を作成頂きました。この経験を活かして、



これからの米沢のものづくりと一緒に盛り上げて頂
けることを願っております。

○企業研修の報告

企業研修を通して、「企業の雰囲気や仕事をする事の心構え」を肌で感じる
ことができました。また、事業内容の一部を体験させていただいたことで、今
後、自分自身が改善しなければならぬポイントが3つあったように思います。

1つ目は、企業の現場では多くの人との関わりの中で作業をすることが多く、
指示されたことを即座に理解し、積極的な行動で作業を進める必要があるとい
うことです。研修中は常に受け身になりがちで、指示されたことに対して「何を、
どのようにすべきか」と理解するのに時間を要したり、また、「だれに、何を伝
えれば良いのか」という伝えたい内容を的確に伝えるということができなかった
ように感じます。そのことから「コミュニケーション能力」を高める必要性がある
ことを理解できました。

2つ目は、学校での学習では、「だいたいできる」と感じていたものが、現場で
の作業では思うようにできないことが多かったことから、「作業の全体を把握す
る力」が必要だということです。「何ができて、何ができないのか。できなかつ
たら何をすべきか」と、自分自身のスキルを把握し、「何を、どのように進める
べきか」と作業全体を考えて、事を進める必要があると感じることができまし
た。

3つ目は、複数の人数でチームを作り、その中で効率良く作業を進めるため
には、計画的に作業を進める「時間管理」が必要だということです。「指示されたこ
とを、どのくらいの期間が必要なのか」ということを把握することで、計画的に作
業を進めることができ、それが個人のスキルも上げることが研修中に理解するこ
とができました。

研修を通して理解できた自分自身の3つの課題を改善し、意図的に物事を考
え、実行することを意識し、今後のスキルアップに繋げて行き、将来の職業の糧
としたいと考えています。